

平成30年度

事業計画書

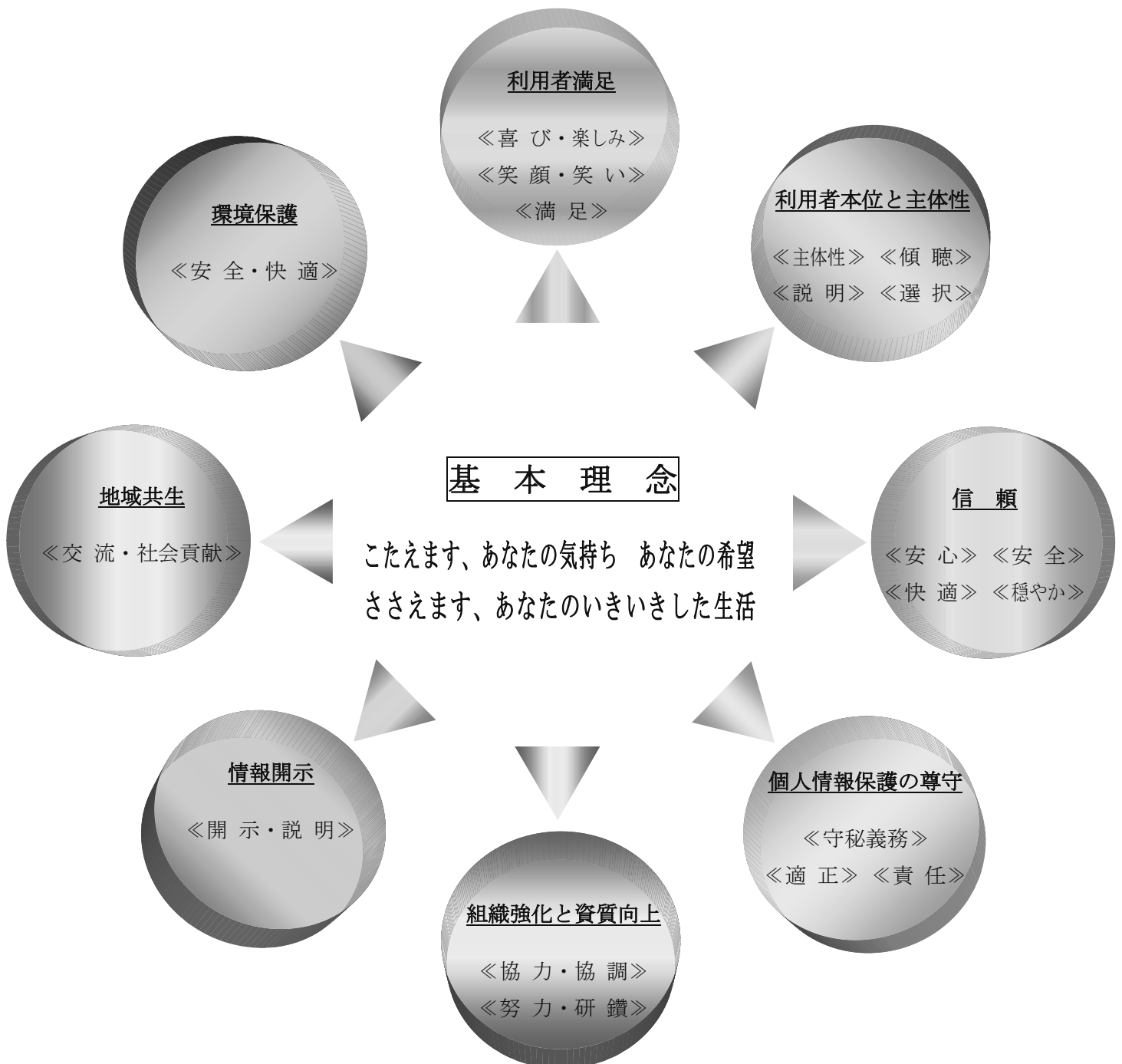
社会福祉法人 札幌厚生会

白石福祉園

基本理念及び基本方針

救護施設 白石福祉園

《私達の基本的な考え方》



平成 30 年度事業計画

事業方針

はじめに

平成 30 年、生活困窮者自立支援制度及び生活保護制度の一体的な見直しがなされ、生活困窮者の自立支援の強化や生活保護基準の見直しが実施されます。

救護施設が取り組む生活困窮者支援の行動指針により、居宅生活訓練事業のみではなく、就労体験事業や、就労訓練事業等も行っておりますが、今回の見直しにおいて、就労準備支援・引きこもり支援の充実があげられており、就労体験の場としての役割が増していくものと考えられ、生活困窮者支援にかかるホームレス支援センターや生活就労支援センターなどの関連機関との協力を進めます。

改正社会福祉法の施行により社会福祉法人に求められる地域貢献活動として、白石区北郷瑞徳福祉推進委員会活動への参加（高齢者世帯の見守り・訪問活動）と、白石区社会福祉協議会の福祉除雪サービス活動への参加（お年寄りや障がいのある方宅の除雪）は重要な位置づけであり、施設職員としてというより社会福祉法人の職員としての活動としての意識のもと継続して地域に貢献できるように行っていきます。

ここ数年来、利用人員が定員割れをしている状況が続いておりますが、長期的に安定した生活の場の確保等のニーズのみではなく、居宅生活訓練事業のように、自立支援を目標にした短期利用も含め、対応の幅を広げていかななくてはなりません。

施設利用者様の状況について、平均在所期間の長期化、高齢化があり、生活の場としてこれからも支援していけるよう、また、一時入所後他のサービスの利用など、一人ひとりのニーズに応えられるようにしていきます。

また、全国救護施設協議会の活動方針にもなっている第三者評価の受審を進めていきます。

<重点目標>

1. 個別支援の充実

利用者様がどのような生活又は人生を考えているか、話し合いを多く持つことで感じ取り、希望や意見を尊重した個別支援計画を進めていきます。

また、利用者様が積極的に意見を出せるよう、日々の生活の中で相談しやすい環境を整えて参ります。施設内での自立した生活はもちろんのこと、地域での生活を希望される方には、居宅生活訓練事業への参加や、必要な支援を受けられる地域資源の活用などに結びつけるようにしていきます。

また、施設生活において依存的にならないよう、主体的な生活ができるよう働きかけていきます。

2. 信頼関係の基づく支援

支援を進めていく上で、信頼関係がなくてはより良い支援に結び付きません。

そのため利用者様一人ひとりを尊重し、より良い信頼関係が築ける様今以上の意識の向上に努め支援して行きます。

3. 健康の維持管理

何よりも利用者様の健康管理が重要と考えます。高齢化による ADL の低下や疾患など、日々の生活の中での変化を見逃さず、日常の関わりを大切にしていきます。

日課として機能訓練や柔道整復師による個別のリハビリ訓練を継続実施し、ADL 低下の防止を図っていきます。また内科、精神科嘱託医、通院先の医療機関との連携を密にし、健康管理に努めていきます。感染症対策については、「予防」を重視し、保健衛生委員会を中心とした注意喚起や日常の衛生指導に努めていきます。

4. 食事と栄養管理

生活の中で大きな楽しみの一つである食事について、保温庫やスチームコンベクションの導入に伴い、献立の工夫やより暖かい食事提供を行い、楽しんで食事をしていただくとともに、塩分の多

い料理の調整を行い、日々の減塩を進めて高血圧予防を行います。

また、介助を要する人には誤嚥や喉詰りが無い、軟らかく食べやすい調理法を工夫して安全に食事提供をしていきます。

食材及び厨房設備備品の衛生管理、従事する厨房職員並びに介助する職員全員の衛生管理も引き続き徹底していきます。保健衛生委員会及び栄養士の主導のもとに、利用者様の衛生教育、体重管理、栄養管理を積極的に進めます。

5. 居宅生活訓練事業、緊急一時入所事業

地域生活訓練事業については、就労や地域生活への移行という実績もできてきていますが、課題を明確にしながらか共に取り組んでいくこと、地域生活移行後に必要であれば相談体制を取れるようにしていきます。

緊急一時入所に関して、単にホームレス状態ということではなく、別な生活問題を抱えていることもあり、実施機関や他の関連機関との連携のもと支援をしていきます。

6. 地域貢献活動

地域貢献活動は前述のとおり社会福祉法人の責務とされることもあり、これまでの関係団体（町内会や社会福祉協議会等）との関係をより一層深め協力関係を強めていきます。

そうした中で、地域のニーズにより施設（法人として）として活動できることの検討を進めていきます。

7. 防災対策

昨年度に続き、様々な災害を想定した訓練を実施して行きます。常日頃から想定外ではなく被害を想定した対策を確認し、安全に避難できる体制や対策を整えていきます。

水害による避難訓練では、毎年の訓練から課題も明確となり、安全な避難体制も整備されてきていることではあるが、更に安全性を高め訓練を計画実施して行きます。

火災や地震による非難に関して、専門業者による防災設備点検のみではなく、日常点検の実施や、防火管理者主導のもと、職員に対する教育指導や施設全体での避難訓練を定期的の実施致します。

8. 職員の資質、処遇の向上

複雑化・多様化する福祉ニーズへの対応と、施設に求められる機能強化のためには、職員資質と処遇技術の向上をより一層高めることが重要です。

このため、利用者様への身体拘束、虐待防止に関する研修や、相互信頼の職場環境づくりにメンタル・ヘルス対策の研修を施設内で実施するとともに、各種の外部研修への職員参加を例年同様に計画的に進めます。

また、救護施設親愛の家（歌志内市）、救護施設東明寮（帯広市）と実習研修を継続実施していきます。

9. 利用人員の確保

ここ数年、高齢化や障がいの状況により長期入院で措置切れとなる利用者様も増えていることから定員割れの状態が続いており、新規入所相談者には、かつてのように「入所には対応が困難」ではなく「どうしたら対応していただけるか」、また、地域生活に移行する、他の機関を利用するまでの短期的、一時的入所も含めた対応の幅を広げていくようにしていきます。そのうえで医療機関や措置機関への働きかけを札幌市内に留まらず今後とも積極的に進めます。

<各種委員会計画>

◆評価基準委員会

第三者評価の受審について全国救護施設協議会の活動方針にもなり、取組が遅れていましたが、研修会等に於いても業務の明文化等の必要性を改めて学び、現状の見直しを図り、第三者評価についても学び受審を進めていきます。

◆虐待防止（身体拘束廃止）委員会

身体拘束廃止に向け更なる理解を深め、また、虐待防止も同様に認識を高めるために障害者虐待防止のチェックリストを活用し、実際に行い評価を行うとともに、手引きに記載されている内容の周知を図り、職員の理解度を深めていきたいと考えております。

◆施設内研修委員会

平成29年度は、施設内アンケート及び昨年度の計画をもとに、各職種別に専門性向上を目指し研修を行いました。平成30年度も更なる専門性向上と、実践に活かせる内容の研修を取り入れる予定です。施設に出入りしている業者様からも講習の案内をいただいたりすることが多くなったため、来年度に取り入れる予定です。

◆メンタルヘルスケア委員会

これまでと同様となりますが、日本の多くの企業では、労働者の急激な高齢化と高度情報化・グローバル化が同時に進行しているため、労働者の多くがこの状況に適応することを強く求められています。その結果、人間関係がさらに複雑化になり、ストレスを抱え、悩む人が増え、社会問題となってきました。昔は、困ったときにはお互いが助け合うという風土がありましたが、それが壊れ、職場の人間関係が希薄になっております。誰かが休むと後ろ向きの気持ちでその役割を引き受けることとなり、さらに心身の健康を損ねてしまうという悪循環が起きております。福祉施設においても担い手が少なくなり、同様の職場環境となりつつあるため、施設運営上においても、個人の問題だけに片付けることなく、組織的な取り組みが必要となってくると考えられるため、委員会を中心に職員にとって協力体制のある働きやすい職場環境作りを進めていくことを目的としていかなくはなりません。

福祉職は、精神的にも肉体的にも過酷な労働であり、ストレスが溜まってくると思いますので、お互いの気持ちを理解し合えるようにならなくてははいけないと感じます。そこからより良いチームを作り、職員の団結が強くなっていくのではないかと考えております。

外部団体が開催している交流事業を利用して、ストレス発散と英気を養い、お互いを理解することが出来る交流の場を提供としていきたいと考えております。委員から参加を促し、多くの職員に参加してもらえよう進めていきたいと考えております。また、継続的に委員のメンタルヘルスケアに関する研修会への参加を進めていきたいと考えております。

◆保健衛生委員会

昨年度は、マニュアルと感染症予防の実践を中心に活動してきました。既存の感染症のマニュアルを各委員会、各セクションに周知してもらい、より実用的なマニュアル作成に努めました。それに伴いノロウイルス・インフルエンザの蔓延予防対策強化を行い、また、肺炎の予防策として肺炎球菌ワクチンの接種を行いました。細やかな体調変化について、情報の共有、対策等予防や重度化にならない様に活動していきます。

◆ヒヤリ・ハット委員会

高齢化が進み、毎年細かなヒヤリとした報告が多く報告されています。

今年度も職員間での情報の共有と未然に防げるよう早期対応に努め、事故防止に繋げていきたいと考えています。

今後もヒヤリハットの減少と重大事故に繋がらないよう対応について十分に話し合い細心の注意を図り対応して行きます。

◎ 各種研究・研修会日程

	(予定期日)	(場 所)
① 全国救護施設協議会総会、経営者・施設長会議	平成30年 5月	東京都
② 第48回全道救護施設職員研修会	平成30年 7月	函館市
③ 第42回全国救護施設研究協議大会	平成30年10月	大分県
④ 平成30年度救護施設研究セミナー	平成30年 未定	札幌市
⑤ 救護施設福祉サービス研修会	平成30年12月	東京都

- ◎ 市内研修
 - ① 全道抑制廃止研究会
 - ② 介護職員専門研修Ⅰ
 - ③ 介護職員専門研修Ⅱ
 - ④ メンタルヘルス研修

指 導 計 画

< 方 針 >

近年、若年層の入所相談も増えてきている中で、長期に入所されている利用者様の高齢化や障がいの重度化も顕著となってきている事から、疾病の早期発見と早期治療のためにも日常生活での観察を重視し、健康面に関しては、看護師を中心に医療機関と連携を密にすることで、予防や治療及び健康の維持に努めてまいります。

年齢や身体的状況が様々な利用者様が生活をしていく中で、一人一人に合わせた個別支援計画を作成し、できることを伸ばし目標を持って楽しみながら生活して行けるよう支援をしていきます。

特に若年層の利用者様に対しては、将来的な方向性を十分に話し合い、自立した生活の支援から、一人一人に合った生活の場を共に考えていきます。

施設での生活においては、個々の状況に合わせた支援を考え、日常生活を送る中で、自立した生活が送れるよう支援することや、身体機能の低下防止しと残存機能の維持に努めることで、利用者様が目標を持って生活が送れるよう、個別支援計画の作成と実施を十分検討し対応していきます。

総合的な支援に対しては、「利用者様の人権を尊重した支援と、利用者様主体の個別支援計画」の推進を図っていきます。

また、若年層の利用者様も増えてきていることから、生活環境においても時代に合った環境の整備を整えなければならぬと感じ、安心して生活できる場の提供に努めて参ります。

レクリエーションについては、利用者様の身体状況を把握し、無理のないよう実施して行きます。特に生活の中で、利用者様の活力となる事であり、楽しみとなっているため、希望や要望が活かされるよう十分に配慮し、楽しい施設生活が送れるよう支援して行きます。

一時入所事業では地域生活困窮者の緊急保護支援や循環型施設として機能するために、利用者様の地域や他種別施設への移行推進を積極的に取り組んでまいります。

より専門的な観点から支援できるよう受け入れ態勢を整え、一人一人に合った個別支援を実施していきます。

1. 年 間 目 標

「利用者様の自立した生活を助長し、希望に沿った生活を支援していきます」

< 重 点 目 標 >

(1) 健康で明るく生きがいの持てる生活

身体的・精神的状況を把握し、毎日の生活の中でそれぞれが生き生きと楽しく生活を送ることができるよう支援します。クラブ活動やレクリエーションも個々を意識し、進んで参加していただけるような環境作りにも努めます。

(2) 日常生活での自立とニーズの充足

生活の中で利用者様にとって必要と思われることは積極的に支援していきます。本人の意向を反映し、レクリエーションに限らず、家族との関係や日常生活でのニーズの実現に考慮していきます。

(3) 高齢者や障がいの重い利用者様の生活充実

高齢化、障がいの重度化の傾向は著しく、毎日の日課やレクリエーションに参加できない利用者様に対して、個々の身体状況に合わせて生き甲斐の持てる生活を送ることができるよう支援していきます。また、利用者様の身体状況によっては、他の専門施設への移行も検討するが、施設内において安心して暮らすことができるよう配慮していきます。また、各セクションとも連携をとりながら日常の介護、食事の観察、疾病の予防や早期発見に努めると共に、施設内での事故の防止にも心がけていきます。

2. 個別指導

利用者様のニーズを踏まえ日常生活における利用者様同士や職員との対話を重視し、より充実した生活が送れるよう配慮していきます。個別の状況を把握しながら、集団の中でいかに個々の生活を充実させていくか十分な話し合いを持ち、それぞれの課題の調整・解決を図り日常生活を援助していきます。

- 居室担当制を基盤とする（通常は各棟で対応するが、状況によっては全体で協力して対応します）
- 年間目標により対応する（日常生活で生き甲斐となるよう本人と良く話し合っ決めていきます）
- 仲間作りの援助
- 家族との交流（ふるさと訪問の他、通信や電話にて対応していきます）

3. 作業

今年度の割箸作業も、昨年同様、袋に箸を入れる作業と三つ折りになっている袋に箸を入れる作業の2種類が中心になると思われます。

作業依頼は一定に来ており、現在のところ作業日の確保は充分出ていますが、割箸の需要が年々少なくなってきたり、それに伴って作業を行う日も少なくなっていくことが予想されます。

又、作業は、日課の大きな部分を占めており、生きがいを持つことや意欲向上等にもつながっており、社会との接点にもなっておりますので、責任を持たせ、どこに出してもおかしくない製品になるよう指導をしていきます。

農園につきましては、栄養士と相談して、可能な限り施設の食事に提供出来る野菜や果物を作り、利用者様の楽しみの一つとなるように取り組んでいきたいと思ひます。

4. 訓練（リハビリ）

参加者一人一人に対して、プログラムを作成し訓練を実施していきます。

週2回（月・木）実施し、残存機能の維持と機能回復の助けとなるよう支援して行きます。

尚、今年度も特に専門的なりハビリが必要な利用者様には、週1回、柔道整復師に依頼してリハビリ指導や施術を行っていきたくて考えております。

5. クラブ活動

余暇活用に結びつく事を目的とし、生活の楽しみとなるように実施して行きます。

内容については、多くの方が参加できるよう工夫すると共に、利用者様の状況に合わせて、別表の通り実施して行きます。

6. 自主的活動

利用者様が共に生活していく上で、他者を思いやり協力して暮らすことができるよう日常生活における様々な場面で利用者様が主体的に企画、進行、参加する機会を設け、生活に対する意欲の向上を図っていきます。

- ミニ集会・全体集会・代表者会議・誕生会・余暇活動
（ゲーム、相撲星取り、パークゴルフ他）
- 日常生活での役割分担
（放送・清掃・食事の配膳他）

7. 教養娯楽（レク・行事）

全ての利用者様が、無理をせずに参加できるように行事全体を計画し、昨年度に引き続き、利用者様個々の希望がより活かされ、楽しめるように計画し実施する。また、静心寮との合同行事の充実を図り、地域との交流を深めて行きます。

8. 給食

健康の保持、増進、生活習慣病の発症予防・安定を目的に、必要な栄養素を備え、嗜好を考慮した食事提供に努めます。

献立作成時には、食事摂取基準に沿った給与食糧構成を基に、栄養バランスや色彩、旬の食材、食べやすさを考慮し、嗜好（給食会議、全体集会等の意見）を組み込んだ献立を工夫し作成いたし

ます。

また、生活の場であることを念頭に、季節感を取り入れた行事食、お楽しみ献立、複数献立（選択食、鍋）等、個人の意見が反映している食事提供を継続していきます。

調理業務は、保温庫、スチームコンベクションを活用し、適温適時給食・食品鮮度の確保・薄味調理・彩良い盛り付け・食べやすい形態や調理法の工夫を行い、高齢化への対応を進めてまいります。また、個別の疾病や障害等の状態にあった食事の提供で、給食の充実を図っていきます。

月1度の検便、大量調理マニュアルに基づく衛生管理の実施により、食品事故を起こさないための定期検査、保存食確保等を実施します。

また、調理従業者の疾態（治療食）教育、衛生教育指導を継続し、各研修への参加を促し、個人の意識を高く保つよう努めます。

本年度の基準は下記の通りとします。

1日当たり給食費 900円

エネルギー摂取量 1,780kcal

・蛋白質	60.0g	・レチノール当量	750 μ g
・脂 肪	49.0g	・ビタミンB1	1.20mg
・カルシウム	675mg	・ビタミンB2	1.30mg
・鉄 分	8.0mg	・ビタミンC	100mg

9. 嗜 好 品

日々の給食で補いきれない嗜好品を1日の栄養量内で考慮します。移動売店で自己管理する菓子もあるため、曜日の調整を行い重複しない様に適量の支給とします。

利用者様の高齢化、活動量に見合った量を考慮した代替え食を提供し、個々に合わせ安全に提供していきます。

支給日 月・水・木曜日

10. 健 康 管 理

高齢化や障害の重複化により、身体諸機能の低下、精神活動の停滞から様々な病気（寝たきり症状や認知症等）になりがちとなっています。下記の14項目、年間計画を実施し内科・精神科嘱託医、各職種間の連携を密接にし、細やかな観察のもと 疾病の予防、早期発見、早期治療に努めて参ります。うがいや手洗い 毎日の体操・散歩を継続また、部屋の換気の必要性を説明し 利用者様の健康管理に努めます。また肺炎の悪化により死に至るケースもあるので肺炎球菌ワクチンの接種し、肺炎のみであるが発病を防げるものと考えております。

<年 間 計 画>

- (1) 内科嘱託医による診療（第1・第5休診、第2・第3・第4診察）
- (2) 精神科嘱託医による診療（月1回及び随時）
- (3) 定期検診
 - ① 血圧測定 } (4月・10月)
 - ② 身 長 } (4月)
 - ③ 体重測定 } (4月・10月の年2回)
- (4) 胃・大腸癌検診
- (5) 胸部X-P検診
- (6) 子宮癌及び乳癌検診（2年に1回とし、80歳以上は検査不要）
- (7) 腹部エコー
- (8) リハビリ訓練
- (9) 入所時一般検診（胸部X-P検診、心電図、血液検査）
- (10) インフルエンザワクチン接種
- (11) 施設内消毒・汚物処理等の指導
- (12) 給食従事者の検便及び衛生指導
- (13) 職員のB・C型肝炎検査（年1回）
- (14) 肺炎球菌ワクチンの接種

11. 防災体制

様々な災害に備えて定期的に避難訓練を実施していきます。

訓練ではお互いに協力して避難行動することと、二次災害を想定した計画をすることで実施します。

近年、大雨による川の氾濫が多く聞かれ、当施設も危険区域となっていることから水害に対する避難訓練も計画的に実践して行きます。

年2回、業者による防災設備の定期点検を実施します。

<訓練計画>

- 4月 防災設備の説明・教育訓練（職員）
- 5月 避難訓練（日中想定）
- 6月 避難訓練（夜間想定）
- 7月 検証制度に基づく訓練の確認
- 8月 検証制度に基づく訓練（夜間想定）
- 9月 地震想定による訓練（非常食）
- 10月 水害による避難訓練

（会議・月行事）

職員会議	月1回	理容日	月1回
処遇会議	月2～4回	美容日	月2回
給食会議	月1回	誕生会	月1回
全体集会	月1回	買物日	月2～3回
代表者会議	月1回	映画の日	月1回
ミニ集会	月2回	各クラブ	月1～2回

各クラブの計画

クラブ	目 標	月	内 容
習 字	多くの人が取り組めるように、やさしい毛筆、ペン習字をお手本に学び、落ち着いた雰囲気クラブにしていきます。	4～10 12 1 2～3	<ul style="list-style-type: none"> ・ペン習字と毛筆 ・年賀状の作成 ・書初め ・一年のおさらい
手 芸	個々のペースにあわせ、皆さんと協力しながら、刺し子や開設記念行事に向けての作品作りをしていきます。	通 年	<ul style="list-style-type: none"> ・刺し子（ふきん） ・たわし作り ・簡単な小物作り
音 楽	多くの方が楽しみながらクラブに参加できるようにしていきます。 また、音楽療法の講師を招き、リハビリを行っています。	通 年	<ul style="list-style-type: none"> ・音楽療法の実施（偶数月1回） * 奇数月は施設職員が実施 ・DVD鑑賞 ・カラオケ
生 花	四季折々の花を楽しみながら生け、個々の完成を磨き豊かな心を育めるよう、自分で生けた花を最後まで責任をもってお世話をするよう声をかけながら活動していきます。	4～11 12 1～3	<ul style="list-style-type: none"> ・自由花、盛花 ・クリスマス用盛花 ・自由花、盛花
四つ葉の 集い	三施設の交流を深めると共に、参加者の意向を充分に取り入れながら行っていきます。 視力にハンデのある人たちにとって、楽しめるように活動を行います。	年3回	<ul style="list-style-type: none"> ・各施設との交流 ・情報交換 ・野外活動（公園散策など）
自 由	参加者を限定せず、皆さんが楽しめる様なイベントの提供を心がけます。 様々な体験を通じて生活の中での個々の生きがいを見出していただけるような活動にしていきます。	通 年	<ul style="list-style-type: none"> ・屋外、屋内問わず、四季に合わせたイベントの実施

	6:00	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21		
	起 床	お 茶	掃 除	朝 食	朝 礼	ラ ジ オ 体 操	散 歩	(日課)	昼 食	ラ ジ オ 休 み	お 茶	(日課)	甘 味 品	リ ズ ム 体 操	掃 除	夕 食	(自由)	消 灯 ・ 就 寝
月					作 業					会 議 ク ラ ブ リ ハ 訓 練 診 察 日								
火					作 業					介 護 入 浴								
水					ク ラ ブ					一 般 入 浴 診 察 日								
木					作 業					ク ラ ブ リ ハ 訓 練								
金					会 議					介 護 入 浴								
土					ク ラ ブ					一 般 入 浴								
日					自 由					自 由 映 画								

- ・作業 9:45~11:30
- ・ラジオ体操 9:15~9:30
- ・クラブ 10:00~11:00
- 14:00~15:00
- 13:30~13:45
- ・リハビリ訓練 月 15:00~16:00
- ・散歩 9:30~9:45
- 木 15:00~16:00
- ・リズム体操 16:00~16:10
- ・ゆっくり運動 16:10~16:20
- ・全体集会 10:00~11:00
- ・代表者会議 10:00~10:30
- ・入浴介護 火 13:30~14:30 (男)
- ・職員会議 13:45~15:00
- 金 14:45~16:00 (女)
- ・処遇会議 10:00~11:30
- 火 13:30~14:30 (男)
- ・個別支援検討会議 10:00~11:30
- 金 14:45~16:00 (女)
- ・給食会議 10:00~11:30
- ・一般入浴 月 13:30~14:30 (シャワーのみ)
- ・訪問理容日 月 1回
- 水 13:30~14:30 (男)
- ・訪問美容日 月 2回 (棟別のため)
- 土 14:45~16:00 (女)
- ・映画の日 月 1回
- 水 13:30~14:30 (男)
- ・イトーヨーカドー訪問 偶数月 1回
- 土 14:45~16:00 (女)
- ・喫茶・売店 第3土曜日

行事計画表

4月 昭和の日 29日	5月 憲法記念日 3日 みどりの日 4日 こどもの日 5日	6月 北海道神宮祭 14日 15日 16日
第38回 カラオケ交流会 希望レク(厚別西友ショッピング) 希望レク(和食)	ドライブレク 希望レク(厚別西友ショッピング) 希望レク(和食) 希望レク(ジャスコショッピング) 希望レク(中華)	宿泊旅行(中距離) 遠足レク 希望レク(厚別西友ショッピング) 希望レク(和食) 希望レク(ジャスコショッピング)
お楽しみ献立 誕生会(鍋) 選択食(1回)	お楽しみ献立 誕生会(鍋) 選択食(1回)	お楽しみ献立 誕生会(鍋以外) 選択食(1回)
7月 海の日 18日	8月 合同慰霊祭 山の日 11日	9月 敬老の日 19日 秋分の日 22日
宿泊旅行(長距離) 福祉園夏祭り ドライブレク 希望レク(ジャスコショッピング) 希望レク(パン・パスタ)	七夕・盆踊り 合同花火大会 希望レク(パークゴルフ) 希望レク(アリオショッピング)	第18回パークゴルフ大会 日帰り旅行(B班) 希望レク(バイキング) 希望レク(バイキング) 希望レク(バイキング)
お楽しみ献立 誕生会(鍋以外) 選択食(1回)	お楽しみ献立 誕生会(鍋以外) 選択食(1回)	お楽しみ献立 誕生会(鍋) 選択食(1回)
10月 体育の日 10日	11月 文化の日 3日 勤労感謝の日 23日	12月 天皇誕生日 23日
日帰り旅行(C班) 希望レク(アリオショッピング) 希望レク(厚別西友ショッピング) 希望レク(ジャスコショッピング) 希望レク(お茶会)	第64回 開設記念日 希望レク(アリオショッピング) 希望レク(厚別西友ショッピング) 希望レク(ジャスコショッピング)	園内演芸鑑賞会 クリスマス会 年越し 希望レク(寿司) 希望レク(寿司)
お楽しみ献立 誕生会(鍋) 選択食(1回)	お楽しみ献立 誕生会(鍋以外) 選択食(1回)	お楽しみ献立 誕生会(鍋以外) 選択食(なし)
1月 元日 成人の日 8日	2月 建国記念の日 11日	3月 春分の日 20日
新年会 希望レク(出前)	節分 園内ゲーム大会	日帰りレク(女子・男子・特室) お茶会レク
お楽しみ献立 誕生会(鍋以外) 選択食(1回)	お楽しみ献立 誕生会(鍋) 選択食(1回)	お楽しみ献立 誕生会(鍋) 選択食(1回)
<ul style="list-style-type: none"> ・ 定期検診 (4月) ・ 胃バリウム検査 (4月) ・ 大腸癌検査 (4月) 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 子宮・乳癌検査 (7月) ・ 腹部エコー検査 (7月) ・ 胸部X-P検査 (7月) ・ 物故者慰霊祭 (8月) ・ 防災訓練 (10月) 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 札幌ふれあい祭 (10月) ・ 定期検診 (10月)